



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和2年度学校だよりNo.2
令和2年4月8日
文責 校長 吉尾直樹

22名の新しい物語の始まりです

4月7日 入学式

おだやかな春の日差しの中、7名の新入生が校門をくぐり、全校生徒22名がそろい、令和2年度がスタートしました。

後輩たちに頼られる先輩になりたいという思いの詰まった温かな歓迎のことば、新入生代表のきびきびとした力強い誓いのことば、どちらもすばらしいものでした。



コロナウイルス感染症対策のため、ご来賓に出席いただくことはできませんでしたが、1年生7名、そして大島中22名の今年度の活躍にご期待

いただくとともに、応援をお願いいたします。

入学式にあたって校長からは、中学校3年間で「自立」と「自律」の力をつけるように努力しましょうと話しました。生徒の中には高校進学を機に親元を離れ、一人で暮らす生徒がいます。そうした時に、自分で考え行動すること、自分をコントロールすることはとても大切です。きちんと起きて、ご飯をバランスよく食べ、運動と学習、さまざまな学校行事に自分から取り組む経験を通して、自立した人になってください。3年間はあっという間、一日一日をみんなの手で「最高の一日」にしましょう。

中学校では二人担任制を行っています。これは、複数の目で学級の子どもたちを見つめ支えるとともに、クラス替えがない子どもたちに多くの担任の先生と出会ってほしいということからです。7名の生徒と1年担任の中尾美和先生、三根祐太郎先生が一緒になって、どのような学級をつくっていくのかとても楽しみです。



「はじめに人が習慣をつくり、それから習慣が人をつくっていく」

ジョン・ドライデン（詩人／イギリス）

「人は習慣によって本物の自分をつくっていく」ということは、なりたい自分を自分でつくることができるということです。この大島中学校では、朝から早く起きて登校しランニングをし、学習に取り組んでいます。家に帰ってからも宿題などがあり忙しいと思うかもしれませんが、でも、こうした「生活リズム＝習慣」を自分で考え繰り返す中で、あなたは自分をつくっているのです。今までの長い臨時休業、春休みで生活のリズムが崩れていませんか。新年度のスタート、頑張ろう。